



令和7年度
5月

やはぎっ子の日

小田原市立
矢作幼稚園
5月号

矢作幼稚園では、社会力（小田原市が教育の中で力を入れていること）を育てるために、「**人やものやことなどとかかわり合う場や機会**」を、1年を通して、計画的・意図的・組織的に仕組み、子どもたちに体験させる」ように取り組んでいます。

具体的には、1年を大きく3つに分け、それぞれに下記のような目標をもって、教育しています。そこで見られる姿を「やはぎっ子の日」というタイトルで、引き続きみなさまにお届けしていきます。

	4月5月6月7月まで	9月10月11月12月まで	1月2月3月まで
	出会いを大切にするとき	共に生きる喜びを味わうとき	別れを惜しむとき
かかわり合う場や機会	やはぎっ子の日で、その姿を発信していきます。		
子どもの成長の姿	慣れる	親しむ	生かす
子どもの学びの姿	わかる (理解できる)	できる (理解したことを正しく表せる)	楽しむ (できるようになったことで楽しむ)

年 長 編

□やはぎっ子げんきっ会パート1



僕は〇〇です。
あなたのお名前は？



年少さんは、お兄さん、お姉さんのすごさを感じてあこがれをもちました。年長さんは、うれしそうにしている年少さんを見て、温かな気持ちになりました。人のためにすることの喜びを知りました。

□玉ねぎ収穫

採れたて玉ねぎと記念撮影です！



初めて育てた玉ねぎを年少さんを招待して一緒にぬきました。やさしく導いてわかりやすく取り方を教えていました。一緒にぬいた玉ねぎは、喜びやうれしさも2倍以上です。気持ちの共有が図れます。

□遠足

家がおもちゃみたいに小さいね！



見つけるとシールが貼れるよ！



春の遠足では、小田原城址公園に行き、念願のお城にのぼることができました。小田原の広さや幼稚園の位置などを体感し、ふるさとを実感できる場となりました。年少さんも同じ城址公園でした。保護者とペアになって、ウォークラリーを楽しみました。最後は、園長からの質問に答えてゴールとなります。

□やはぎっ子げんきっ会パート1



お店屋さんでは、お客さんになった年少さんや、幼稚園関係者委員の方々、保護者の方々などを相手に、お店の特徴や買い方を説明しながら接客していました。商品の出来栄に皆さん感心していました。相手にどのようにわかってもらうか考えることで、かかわり合うために必要な素地を身につけるよい機会となりました。この経験から、また新たなバージョンアップした楽しい活動がつけられるのが楽しみです。

年少編



年長さんのように、心を込めて植えるときっとよく育つね

□夏野菜の苗植え



たまねぎの収穫にかかわったことで、今度は自力で育てることにチャレンジしたくなります。収穫した夏野菜を持ち帰りたいという思いをもちながら、毎日世話をしたり観察をしたりしています。

□さつまいもの苗植え



どうやったら上手に植えられるの？

こうすると、まっすぐ植えられるよ！

年長さんと仲良く植えることができました。自然なかかわりが協力する大切さを学ぶことにつながっています。植えた後も、年長さんの姿を見習い、毎日のように水やりをしています。たくさん収穫できるのが楽しみです。

遊ぶ人数が増えると、また新しいことができるね！

□園庭遊び



どんな色ができるかな？

園庭には、楽しそうな場がたくさんあります。砂とは自分たちの考えたスタイルで楽しみます。いつしかスタイルを変えてより楽しくすることが始まります。お互いに声を掛け合って一緒につくり上げるよさに気づきます。違う日には、散ってしまいそうな花びらを色水にして、再び輝かせる遊びをしました。身のまわりにあるものも見方を変えれば、自分たちにとって素晴らしいものになることを実感できる場となりました。

口やはぎっ子げんきっ会パート1



年長さんにお店屋さんに招待され楽しさを味わった年少さんは、今度は自分たちもやってみたいとチャレンジします。人とのかかわりの経験が増えていくことで、身のまわりにあるものやことへの興味・関心が高まり、それを自分らしく表現することで満足感や充実感が生まれ、自己肯定感がつくられます。

番外編（かかわり合いから生まれる温かな心、子どもも大人も一緒ですね！）



①この場面は何をしているところでしょう？

ある日の朝。ふと目を廊下に向けると、年長さんが年少さんに園服の畳み方を教えているほほえましい場面に気づきました。年少の担任から年長さんへ教えてほしいとお願いしたそうです。このように先生方が、かかわり合う場を見逃さず見つけ、促し、体験させることで、子どもは成長できます。

②この場面は何をしているところでしょう？

保護者の皆さんはご自身のお子様を食い入るような視線でじっと見つめています。一つ一つのつぶやきが気になります。子どもも張りきっています。この温かな心をずっと大切にしてくださいね。

